

キャラクター名
楠田 二兎

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ		ワークス	UGN支部長D	カヴァー	クスダインダストリーズCEO
	ブラックドッグ					
オプション			年齢	34歳	性別	男
覚醒	死	衝動	飢餓	初期侵食率	38	%
出自	資産家	経験	喪失	邂逅	ビジネス	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	30
肉体	4	0	0			4	行動値	6
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	6
精神	2	0	0			2	戦闘移動	11
社会	0	1	0			1	全力移動	22

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃	9		RC			交渉	1	
回避			知覚			意志	1	5	調達	6	
運転:			芸術:			知識:機械工学	5		情報:UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
クリスタルシールド	白兵	4r-1	24	0		
リニアキャノン	射撃	2r+7	-	8		この武器による攻撃に対するドッジ判定ダイス-2個

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
マグネットコーティング	
思い出の一品	
コネ:UGN幹部	
コネ:手配師	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	ダイス	消費
機械化兵	P	N		
村の人々	P 連帯感	N 不安		
A市	P 誠意	N 悔悟		
FH	P 執着	N 憎悪		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 14 残り財産P: 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果: 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果: コスト分のHPで復活								
ウェポンマウント	2	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 常備化P(Lv*5)以下の武器を常備化、イニシアチブプロセスで装備可、侵蝕率基本値+2								
ハードワイヤード	7	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: リニアキャノン、マグネットコーティング*6常備化、基本侵蝕率+4								
マグネットフォース	1	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果: カバーリングを行う、メインプロセス1回								
アタックプログラム	7	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果: 達成値+(Lv*2)								
アンテナモジュール	1	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果: 通信用の電磁アンテナ内蔵								
タッピング&オンエア	1	1	メジャー	視界	効果参照	自動	-	
効果: 電波を送受信できる								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

楠田二兎は、有り体に言えば天才だ。

高校1年生の時にロボット工学の門扉を叩くと、その1年8ヶ月後には博士号を取得。高校卒業後まもなく、医療、介護など目的に囚われず、どんなシーンにも活用可能なパワードスーツの開発を目指し、「クスダインダストリーズ」を起業。資金の調達のためUGNへの兵器開発・提供を行い、貢献と能力を買われ非オーヴァードであるにも関わらずUGNに正式加入。青森県A市支部の支部長にも任命され、優秀な部下たちに支えられながら務めを果たしていた。

全て失った今となっては、幻想だったのかも知れないが。

A市は炎に包まれ、闇という闇をこの世から消し去っているかのようだ。とすれば、今まさに眼前で消えた母の命は、父の命は、友の、部下の、自身の命は、闇。

少なくとも、楠田二兎の『命だけ』は、闇ではなかった…そういうことなのだろう。目覚めた時、この世を、あの日の炎を、自身の弱さを呪った。皮肉にも何も守れなかった自分は、のうのうと生きてしまっている。それも『生前』に作っていた冗談…憑依型強化内骨格“ティンペッド”として。人間の魂をロボットに定着させ、筋力に依存しない最高のパワードスーツを…などと余った予算でエイプリルフール向けに作ってみたものが、本当に稼働すると。レネゲイドとは恐ろしく神秘で恐ろしく残酷だ。生かされた意味が、復讐なのか、懺悔を終えるまでの猶予なのか、それ以外の何かなのか。生きている間はせめて、みんなの命を背負って生きてと決めた。

母の、父の、友の、部下の、自身の屍を素材として作り出したスーツを纏い、楠田二兎は何に向かって歩き出した。